

## 令和5年度 藤沢清流高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上 (法令の遵守、服務規律の徹底)	公務員としての自覚と使命感を持ち、法令順守及び服務規律の徹底を図る。	不祥事防止研修を実施し、改めて規則の確認等を行い、職員行動指針の周知・徹底を図った。
職場のハラスメントの防止 (パワハラ、セクハラ、マタハラ等の防止)	職場でのハラスメント行為を防止し、県民からの信頼に応える健全な学校環境をつくる。	不祥事防止研修の実施、風通しの良い職場の空気を作ること。また、管理職や同僚への相談がしやすい環境づくり等に留意することで、目標を概ね達成とした。
生徒に対するわいせつ、セクハラ行為の防止	生徒へのわいせつ、セクハラ行為を決して起こさず、学校に対する信頼を確保する。	啓発資料や報道等の事例を活用、職員が自分事となるよう情報を提供するタイミングに留意した。
体罰、不適切な指導の防止	生徒への体罰、不適切指導を決して起こさず、学校に対する信頼を確保する。	日頃からの生徒対応に留意するとともに、人権教育研修会や啓発資料等を使用し、不適切な指導事例の把握やその未然防止に努めた。生徒が相談しやすい体制の整備を図った。
入学者選抜、成績処理及進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	ミスは起こりうる、誤りはあるとの前提に立ち、ミスを見やすい環境づくりとチェック体制の整備に努め、事故を未然に防止する。	業務の計画、要項やマニュアルの作成とその読み込みを行い、全職員が共通認識をもって業務に臨めるよう留意した。また、啓発資料等を使い、確認事項を再認識する機会を設けることで、事故防止に結び付けることができた。
個人情報等の管理・情報セキュリティ対策	個人情報の流出を防ぎ、情報セキュリティを保持する。	個人情報の持ち出しや日常の情報管理について、定期試験、成績処理等特に注意が必要な時期は重点的に注意喚起を行った。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故を起こさないよう細心の注意をもって運転する、飲酒しての運転は絶対に行わないという強い意識を持つ。	啓発資料を使用し、歓送迎会他、飲酒を伴う機会が多くなるときには特に重点的に交通ルールや酒気帯び運転等の諸事項を自分事となるよう注意喚起も行った。
会計事務の適正執行	規則に基づいた適正な会計処理及び財産管理を徹底する。	会計担当者を中心に私費会計処理に係る事務全般について説明を行った。また、全体に対しては、公金と同じであること、必要性や優先順位を考えた執行をするよう、定期的に働きかけを行った。

## ○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

概ね目標を達成していると思われるが、業務の継続性という観点からは見直す余地はある。例えば、ある業務についてはマニュアルを作成することで、現状の課題を洗い出し、業務の一層効率化を図ることも可能であろう。仕事を組織で行うという視点を引き続き持ったうえで、次年度は特に事業の継続性という観点から、取り組んでいきたい。